

# サポートチームだより

## 部活動改革推進本部会議 開催 ～全道の取組を確認～

### 〈地域の実情を踏まえた支援を〉

令和6年（2024年）8月27日（火）の13時30分から教育部長をはじめ、教育庁の各局長や各課長及び各教育局長などが出席し「令和6年度第1回北海道部活動改革推進本部会議」がオンラインで開催されました。冒頭、本部長の学校教育監 山本 純史 より挨拶があり、「道教委としては、各取組を充実させ、地域の実情を踏まえた支援を積極的に行ってまいりたい」と述べました。

### 〈取組への働きかけや積極的な支援が必要〉

続いて学校教育局部活動改革推進課長 長居 成好 から道教委の取組や市町村の取組状況について説明（＝右図）があり、道教委の取組においては「具体的な取組が決まっていない自治体にはアドバイザー派遣等の活用をしていただきたい」などと述べ、市町村の取組状況では、実施した調査の結果、「すべての項目で数値が伸びている」とする一方で、地域移行に向けた課題は「指導者の確保」など「前回の調査結果と同様」であったことから、「より一層、取組への働きかけや積極的な支援が必要」と参加者に呼びかけました。

また、会議では、管内市町村の取組状況やサポートチームの取組について胆振・オホーツク・釧路の3局から情報提供が行われました。

### 〈現在地の再認識を〉

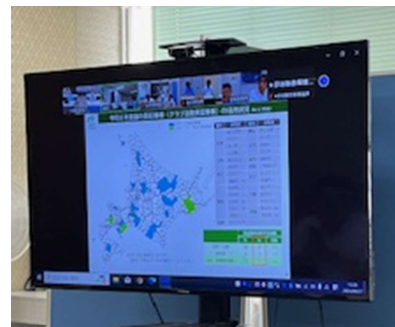
各説明等の後には、スポーツデータバンク株式会社 代表取締役 石塚 大輔 氏 による講演が行われ、市町村の課題（広域連携、人材確保、財源確保 等）に対応した解決策や事例について講義が行われました。この中で石塚氏は「スポーツ（文化）活動に対するニーズが多様化している」とし、「子どもたちを中心に現在地を再認識する必要がある」と強調されました。また「活動を持続可能なものにするためには民間団体などと連携して解決できるものもある」と述べられました。

会議に出席した十勝教育局職員は、今後の取組に生かすべく、講義を視聴しました。

#### 【出席者（十勝教育局）】

局長	新山 知邦
次長（チームリーダー）	多田 博昭
教育支援課長	鈴木 毅
教育支援係長	中野 友邦
社会教育指導班主査	皆川 敬太
教育支援課主査	有働 雅哉

※教育支援課長以下はオブザーバー参加



説明の様子（オンライン画面）

【発行・お問い合わせ先】  
北海道教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課 主査（地学協働）

住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目

電話：0155-26-9243 E-mail:udou.masaya@pref.hokkaido.lg.jp